

技術部進化に向けて

東京工業大学 技術部

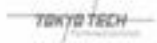
和田 選

技術部進化に向けて

1. 技術部の現状
2. 精密工作センター

東京工業大学技術部
和田 選

平成20年12月3日(水)



東京工業大学 技術部

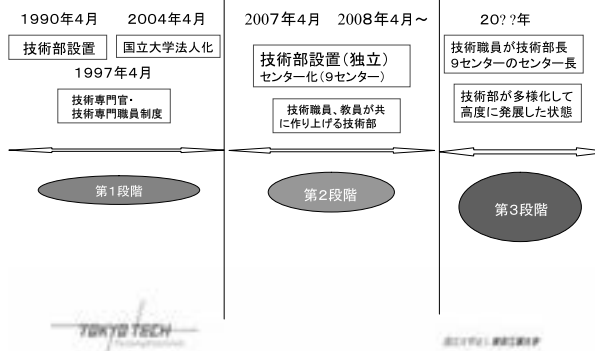
1

東京工業大学技術部

- 2007年4月設置(独立)
- 発足時定員:90名「9センター」
- 東工大を構成する常勤職員
教員:1200名・事務職員数:450名・技術職員90名
学生数:10,000名
- 2007年8月 技術部報告会
- 2007年9月 大学主催:技術部発足記念式典 学長挨拶
- 2008年8月 センター報告会

2

東工大技術部進化に向けて



3

東工大技術部進化に向けての道筋

第1段階人事管理、部局・研究室所属現状維持(本籍と現住所)

1990年4月~2007年3月迄

1990年4月 技術部設置

技術部長 教授、技術部委員会(教員、技術職員)
6技術区技術長、2技術班(計12班)
技術班長・技術主任・技術専門職員

1997年4月 技術専門官、技術専門職員制度導入
待遇改善を目的、職務の明確化、技術区、班制度廃止
技術の継承、後進の育成



東京工業大学 技術部

4

2004年4月 国立大学法人化 法人化準備部会答申

教室系技術職員 約90名 → 技術部を實質化して全学集約

1. 全学集約の目的(職場の活性化)

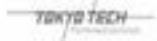
- ・技術職員の業務の明確化(研究教育支援)
- ・技術職員の業務(研究教育支援)を行うための環境整備
○技術部所属の研究支援センター(技術職員)

2. 集約のタイムスケジュール

- ・第1期中期目標期間の6年で全学集約(2004年~2009年)
- ・結果、全学集約のセンター化前倒し実施(2007年4月実施)

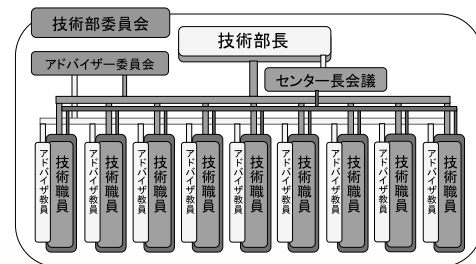
3. 集約化での方針

- 1) 技術職員 業務は研究支援、センターに所属する
- 2) センター 9センターを立ち上げる、アドバイザー教員を付ける。
センター長は技術職員(任期2年)、センター長会議、各センター運営委員会
- 3) 技術部 センター長による技術部運営。将来、技術職員を技術部長



東京工業大学 技術部

5



東京工業大学 技術部

6

第2段階

2007年4月 技術部設置(独立)

学長辞令 部局から技術部に配置換

技術部から九つの各センターに所属

センター長は任期2年(再任を妨げない)

アドバイザー教員を各センターに置く

始めに4センターが実施化(業務形態として)

(★技術職員がセンター長、○教員がセンター長)

★設計工作技術センター 15名 ★精密工作技術センター 9名

○分析支援センター 16名 ○情報基盤支援センター 7名

2007年度内に残りの5センターを実施化

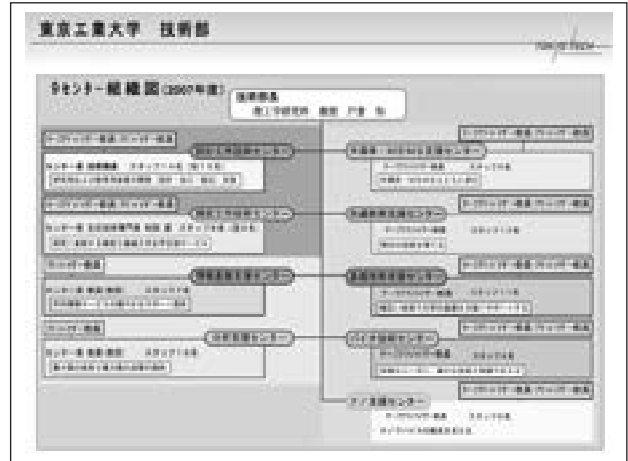
・半導体・MEMS支援センター 5名 ・共通教育支援センター 10名

・基盤技術支援センター 11名 ・バイオ技術センター 4名 ・ナノ支援センター 8名



東京工業大学 技術部

7



8

2008年4月

1. 9センターの実施化(各センターの業務、部屋)

・4センター長 技術職員

★設計工作技術センター 12名 ★精密工作技術センター 8名

★半導体・MEMS支援センター 5名 ★共通教育支援センター 8名

・5センター長 教員

○分析支援センター 14名 ○情報基盤支援センター 8名

○基盤技術支援センター 13名 ○バイオ技術センター 5名 ○ナノ支援センター 9名

2. センター長会議(技術部の管理、運営)

構成員 議長 技術部長(教員)

9センター長、チーフアドバイザー教員、主任技術専門員

3. 技術部企画室

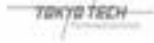
1. 技術部全体の活動の企画立案

2. 技術的問い合わせの対応

3. 技術部職員の事務的支援(旅費手続き、出勤簿・休暇簿などの管理、備品管理)

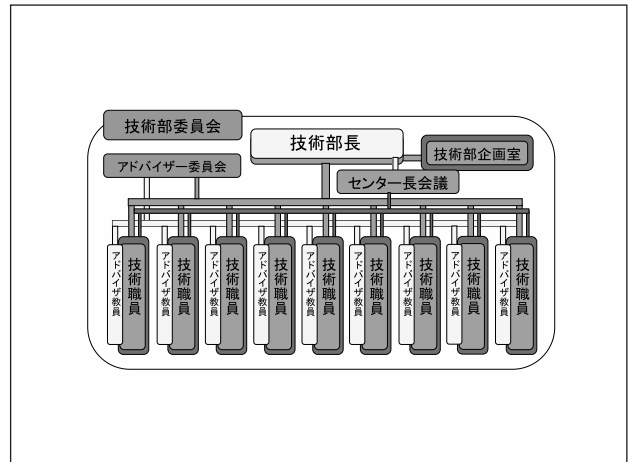
4. 技術部関連会議などの資料等の取りまとめ

5. その他技術部長の指示によるもの(技術部長の補佐)



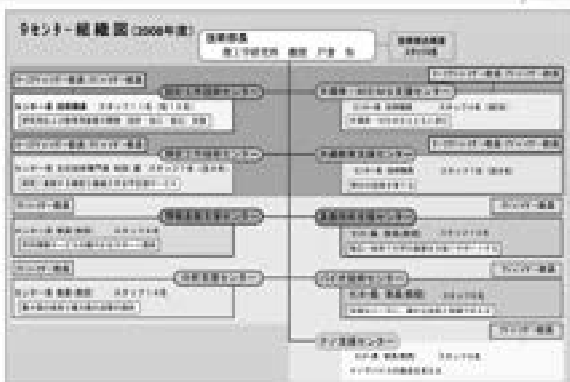
東京工業大学 技術部

9



10

東京工業大学 技術部



11

第1期中期目標期間の今年度と来年度が東工大技術部に取って非常に重要な年になる



東京工業大学 技術部

12

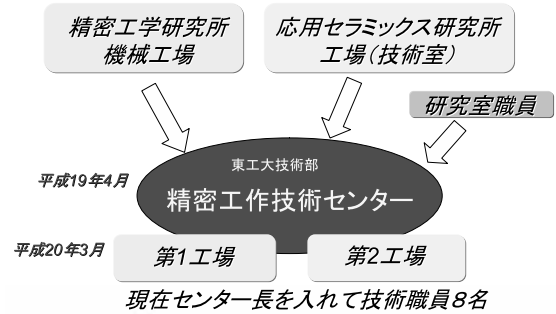
精密工作技術センター



広島大学 工学部

13

精密工作技術センターの経緯



広島大学 工学部

14

精密工作技術センター工場



第1工場



第2工場



広島大学 工学部

15

業務内容

1. 依頼による高度な機械工作
2. 工作の実地指導
3. 学生に対する工作機械取り扱い及び安全 指導
4. 各部局(専攻)からの出張技術実習指導及び安全指導
5. 工作機械保守管理・安全管理
6. 試作品の設計工作・支援



広島大学 工学部

16

センターの基本的な方針

1. 多品種少量生産(研究者と随時打ち合わせをしながら特異な形状や特殊な材料の要求に応える)
2. 技術者のスキルが要求される加工技術開発的な仕事を行う
3. 大量生産加工品は外注することもある(時期的な要因で10月から工作依頼が大変混み合う)



広島大学 工学部

17

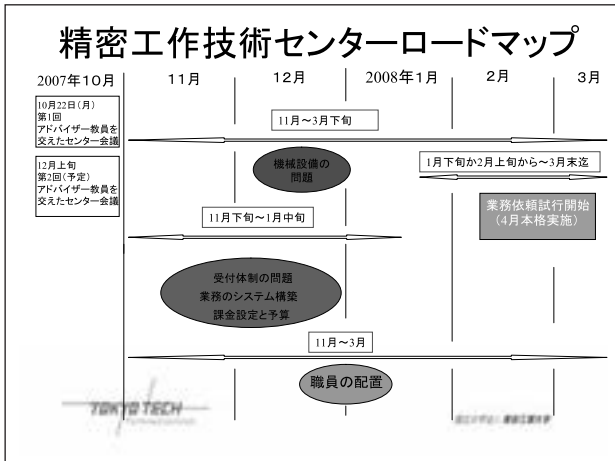
センター運営会議(運営委員会)について (2007年10月~3月)

- センター運営会議の構成員(15名)
センター職員(9名)
- ・センター長 和田、久保、長峯、石山、高橋、杉原、奥野、小屋畑、村田
 - センターアドバイザー教員(6名)
チーフアドバイザー教員1名、アドバイザー教員 5名
チーフアドバイザー教員 精研 北條教授
 - ・応用セラミックス研究所 (2名)
安田教授、篠原准教授
 - ・精密工学研究所 (4名)
北條教授、新野教授、中村准教授、進士准教授



広島大学 工学部

18



19

第1回 センター運営会議	H19 10.22
・センターの運営と今後について	
第2回 センター運営会議	H19 12.13
・予算規模、負担金、利用規約	
第3回 センター運営会議	H20 1.30
・業務依頼、業務報告書の検討	
第4回 センター運営会議	H20 2.21
・規定、規約、予算規模、負担金	
第5回 センター運営会議	H20 3.25
・規定、規約、負担金の最終確認	

TKKYD TECH

20

センター運営会議で検討したこと

- ・ 業務内容
- ・ センターの利用方法
- ・ センターへの工作依頼について
- ・ センターへの依頼方法
- ・ 依頼から納品・負担金支払までの流れ
- ・ 負担金について
- ・ センター工場利用規定
- ・ 精密工作技術センター工作依頼書
- ・ 精密工作技術センター工場利用申請書
- ・ 精密工作技術センター工場利用誓約書

◎4月からHpを立ち上げ工作依頼、セルフユースを始めた。

TKKYD TECH

21



22

センター利用説明会(2008年6月24日)

- ・ 2年目を迎え研究・教育支援の対象を拡大する目的から6月24日に利用説明会を開催しました。
- ・ センター利用説明会を開くことで、すずかけ台のユーザーの掘り起こしを行う。
- ・ 今後2・3年でユーザーのデータが整う

TKKYD TECH

23

センター利用説明会について(125名参加)

場所:すずかけホール3階 多目的ホール
 日時:平成20年6月24日(火) 16:00~17:00
 プログラム

1. 16:00~16:15 説明会開催の趣旨、センター概要説明
(和田 選主任技術専門員 精密工作技術センター センター長)
2. 16:15~16:30 工作依頼について
(長峯靖之技術専門員 精密工作技術センター)
3. 16:30~16:45 工場利用について
(杉原輝哉技術職員 精密工作技術センター)
4. 16:45~17:00 質疑応答
(和田 選主任技術専門員 精密工作技術センター センター長)

内容

- 仕事を依頼するには
- 支払いは
- 自分で加工するには

TKKYD TECH

24

今後の課題

- ユーザーに充分に対応していけるか？
- 日常の具体的な対応力、さまざまな研究に対して貢献できるか、今後、精密工作技術センターの真価が問われる。
- 以上の2点をクリアすることにより精密工作技術センターの研究支援としての位置を獲得する。



広島大学 技術センター